国語

全員回答

[一]

問一
a 趣旨
b 順序
c 省察
d 名誉
e 保護

問二
X イ
Y エ

問三
A まずい
B うまい

問四
但しその場

問五
(1) 腕の問題は、ただうまいか、まずいかによってのみ決せられるべきもので、いくらすぎた くもすぎられると云う訳がないから。
(2) 内容と技功と不即不離な意味の表現において失敗している作品。

選択 [二]

問一
① 諾否
② 隔
③ 萎
④ 諦念
⑤ 蜜月

問二
a ウ
b エ
c オ

問三
Ⅰ エ
Ⅱ オ

問四
要点（または、最も興味を引く部分）のこと。

問五
文章の出来を左右する思考のきめ細やかさが無意識のうちに生み出されていたこと。

問六
執筆過程での各段階の心理に向きあって完成させた本だけに、毎回自分の歩みを見るようにさせられるから。落ち着かない気持ちに

選択 [三]

問一
手厚く看病したのだが、病状は良くならなかったので

問二
ウ

問三
ア

問四
一般的に人は死の間際には仏の力にすがるものであるが、惟規は死出の旅にさえ和歌を詠むことを考えていたから

問五
エ

問六
ふ

問七
エ